

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年 3月29日

市川市長

団体名 市川なのはな会
(団体番号 64)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	754,194円
(2) 補助対象経費総額	299,220円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

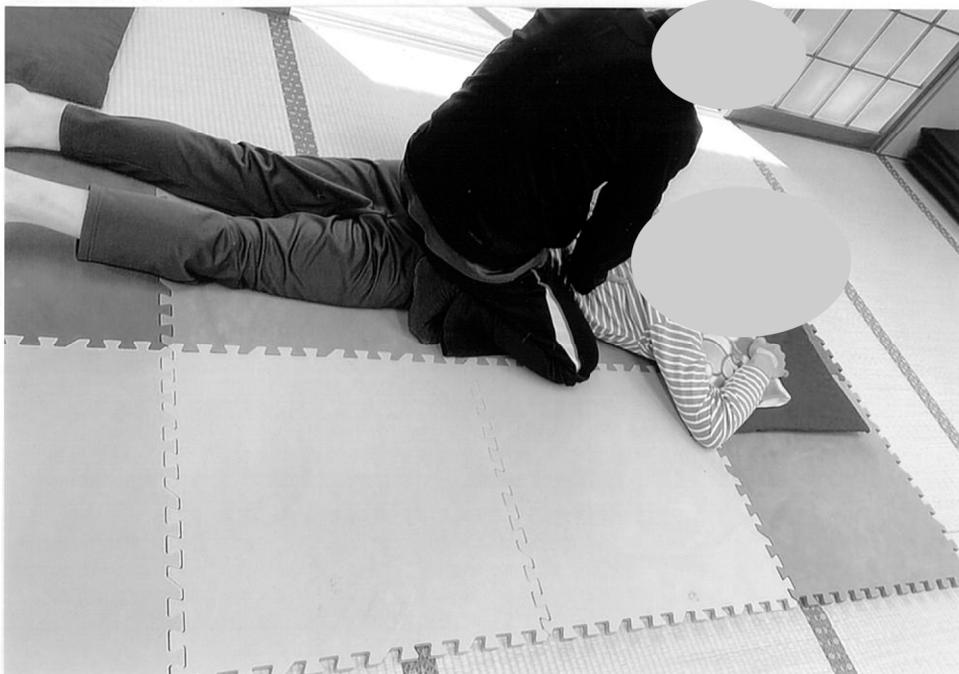
補助決定事業の名称	動作法による障害児者への療育事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ・このほかと同様にほか、人数配分を考慮してからやる事で、分かりやすい指導が行えている。 (実施日、4/9, 5/14, 6/18, 7/16, 9/10, 10/8, 11/12, 12/10, 1/14, 2/11, 3/3) 参加人数：毎回約40名
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・市内の特別支援学校や、福祉通所施設に通う障害児者を育てる保護者に個別に呼びかけ、動作法を説明し、関心を持ってもらう。 ・トレーナーの育成、確保のため、特別支援教育に携わる方々への説明を行う。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ・障害児者が動作法を学び、自分の体のよい動きかた、使い方を覚えることで日常生活を改善する手助けになった。 ・支援者間のスキルアップにもつながっている。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・体の動きについての個々の課題は、それぞれに合わせた毎月の訓練で改善する方向にみるため、継続して参加することへ「大事だ」と感じる。 ・トレーナーの育成や確保が難しい。 昨年同様にマネージャーの方々と協力しほかからトレーナーの育成や確保に努めた。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

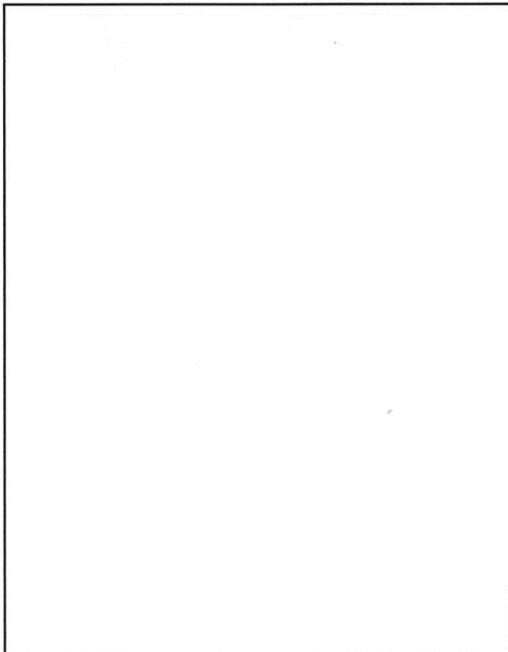
タイトル : 月例会

撮影年月日: 2024. 2. 11



タイトル : 月例会

撮影年月日: 2024. 3. 3



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：動作法による障害児者への療育事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	60,000	ライオンズクラブ50,000円、市川手をつなぐ親の会10,000円
会費充当	544,584	団体の本会計より充当
補助金返金	-390	
合計	754,194	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	415,000	275,000	スーパーバイザー謝礼金 1名 20,000円×7回分、2名 10,000円×11回分、 1名 5,000円×11回分
交通費	39,000		スタッフ(トレーナー)交通費
消耗品費	660		封筒等
印刷製本費	300		コピー代
通信運搬費			
保険料			
使用料及び賃借料	75,140	24,220	市川市文化会館 使用料
食糧費	41,208		お弁当代
その他経費	182,886		連絡会会費 6,000円、慶弔費 58,521円 キャンプ費 50,000円、なのはなTシャツ作成料 68,365円
合計	754,194	299,220	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年2月18日

市川市長

団体名 サンシャインクラブ

(団体番号 66)

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	1,261,574円
(2) 補助対象経費総額	387,153円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

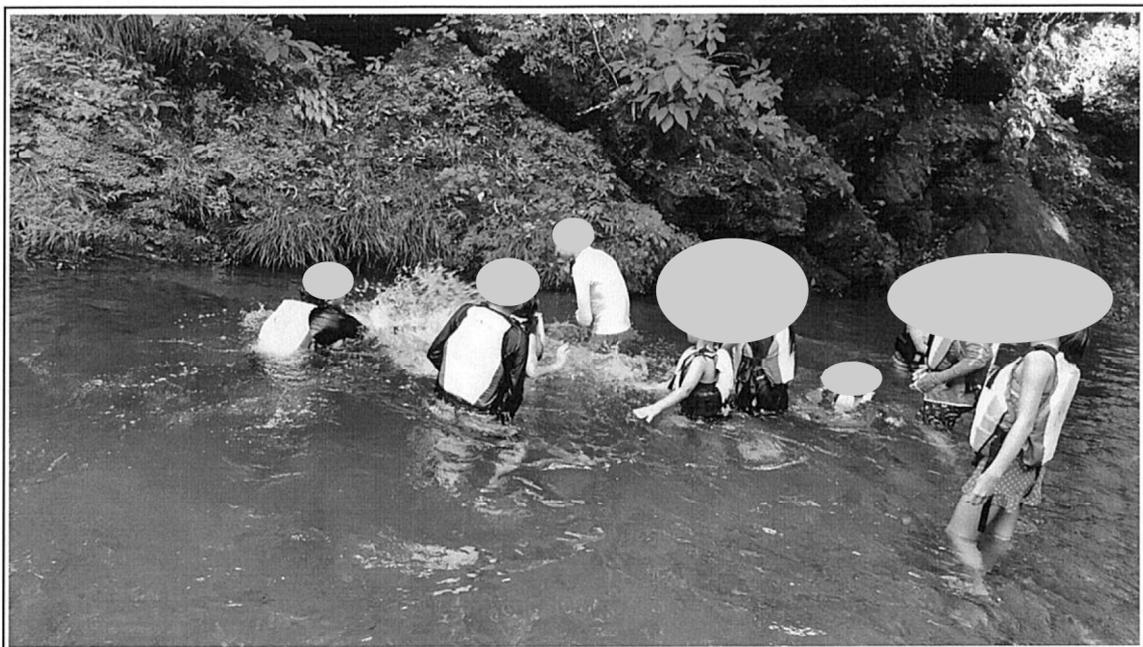
補助決定事業の名称	第43回サンシャインクラブ自然体験キャンプ
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>実施日程：令和5年8月10日～14日 実施場所：緑と太陽の丘キャンプ場 〒409-0201 山梨県上野原市秋山5030 参加者：小中学生42名(内市川市35名)・保護者、スタッフ48名(内市川市民30名)</p> <p>実施内容： ・コロナ禍明け初のキャンプであったが、参加者が大幅に増え実施する事が出来た。 ・キャンプ地は、川遊びなどダイナミックなプログラムを想定し、安全に実施できる場所として選定した。 ・大きな広場を貸し切りにすることができた為、プログラムの自由が広がり当初の目標である異年齢による自然体験や物作り体験をすることができた。 ・現地ならではの自然との触れ合いにより、山梨県に関する歴史や自然等を知る</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の保育所(さかえ保育園、風の谷こども園)ちらし配布、ポスター掲示 ・地元サッカークラブ保護者会への告知 ・ホームページでの告知(https://ssc1980.com/2023/06/10/第43回自然体験キャンプのご案内/) ・前回の参加者へ募集メールの発送
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのキャンプを復活することができた コロナ禍後であったが、補助金を活用することで4年ぶりのキャンプを実施することができた。こどもたちにとって久しぶりのキャンプは、かけがえのない体験となったと思います。 ・子どもたちが川遊びを含め自然を十分体験できるキャンプを実施できた。 山梨県の自然豊かな場所で、個人の創造力を高めながらキャンプ生活に取り組み個々の生活力の向上や自然を通じた遊びを楽しむことが出来た。 ・異なった学年で、協力して目的を達成する体験ができた 兄弟が少なくなってきた現代、年上のこどもが小さいこどもの面倒を見る機会や、様々な年齢のこどもが集まって遊ぶ機会が少なくなっています。今回も、大学生・高校生や高学年の子どもたちが年下の子ども達の面倒をみる機会を得ることができました。 ・魚の掴み取りを実施 生きた魚を自分たちの手で調理する事により命をいただく事に改めて気付かされ、自然の恵について考えるきっかけになったと思います。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者不足 異年齢の子ども達に対して野外活動を指導できる若いリーダーが不足しています。小学生からこの活動に関わり、大学生になってリーダーになるような私達が考える理想的な若者もいますが、大学生で活動できるのは、数名です。大学生や若者に楽しく、そして、大切な活動だという情報提供や学生とのつながりが必要だと感じます。今回のキャンプについては、大学生スタッフ14名と確保できましたが、知識やスキルの向上が今後の課題と捉えています。 ・環境(キャンプ場)の減少 私たちが実施するキャンプができる場所が減っています。私立の施設は、オートキャンプ場が多くなり、教育キャンプができる場所は公営のものに限定されてきています。場所選びにかなりのコスト(時間、金額)が必要になってきています。市内のキャンプ場や宿泊施設の整備を切望します。今回のキャンプ場は、上野原市営であったものの過去の私立経営の形態が継続しており、公立等の教育キャンプを実施する環境が整っていたとは言い難いものだった。 ・今後の方向性 自然の中で活動することの必要性は、これからも不変のものと考えています。子どもたちが直接自然にふれ合う機会が大幅に減る中、今回のキャンプでは、仲間と一緒に自然にふれ合う体験を持つことができました。参加者や保護者からもこの活動の支援をいただいております。あらたに参加者を増やし、充実した活動を計画していこうと考えています。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 川遊び

撮影年月日 : 2023年8月12日



タイトル : キャンプファイヤー

撮影年月日 : 2023年8月13日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：第43回サンシャインクラブ自然体験キャンプ

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	1,003,000	参加費（小学生 24,000x13 20,000x12 中学生 26,000x13 24,000x2 幼児 5,000x2 保護者 15,000x2 10,000x1 5000x3）
寄附金収入		
補助金収入	150,000	
その他（助成金等）		
会費充当	108,574	団体の本会計より充当
合計	1,261,574	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
使用料及び賃借料	714,280	313,000	バスレンタル費 403,000円 施設使用料 311,280円
交通費	62,806		資材車 2台22,856円 中学生交通費 39,950円
消耗品費	39,653	39,653	キッチンペーパー、防虫ネット、たわし、香取綿
使用料及び賃借料	29,348		ライフジャケット 大580x25 小580x21
保険料	45,650	34,500	小学生800x40 保護者・スタッフ350x39
会議費	43,772		
食費	214,016		
常備薬	2,064		
資材備品費	30,420		テーブル用ボール、チェア、コピー用紙
下見費用	45,118		
報告会費	34,447		
合計	1,261,574	387,153	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年3月25日

市川市長 御中

団体名 元気!市川会

(団体番号 68)

代表者名

所在地

令和5年10月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	1,272,823円
(2) 補助対象経費総額	224,024円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	千葉県の大関口に相応しい、風格・賑わい・活気溢れる街づくり
補助決定事業の実施内容	<p>1. 市川駅北口駅前イベントステージ運営 実施期間：令和5年4月～令和5年11月(期間中の毎週金曜日) ※休演日：5/5、6/2、8/11、9/8、11/3、11/17(祝日または悪天候による中止) 実施場所：JR市川駅北口 内 容：パフォーマーが演技演奏を披露する場としてイベントステージを利用する事で「街の魅力の向上」を実現 参加人数：350名(出演者20組、観客及び関係者)</p> <p>2. 市川駅北口シェルター清掃及び美観維持 実施期間：令和5年4月～令和6年3月 実施場所：JR市川駅北口 内 容：北口駅広シェルターや歩道の清掃・手入れの実施 参加人数：36名</p> <p>3. 市川駅北口のLED照明装飾 実施期間：令和5年4月～令和6年3月 実施場所：JR市川駅北口 内 容：北口駅広シェルターや街路樹などにLED照明の装飾を実施 参加人数：48名</p> <p>4. 地域情報設備・ウェルカムボード維持管理 実施期間：令和5年4月～令和6年3月 内 容：ウェルカムボードの保持と地域情報や自転車マナー向上の啓蒙放送を実施 参加人数：48名</p> <p>5. JR市川駅南北口花壇・プランター清掃・美観維持作業 実施時期：適宜 実施場所：JR市川駅南北口 内 容：市民に対して駅周辺的美観維持の必要性を求める手立てとして、花壇及びプランター等的美観維持の為、花苗植替えと花器清掃を実施 参加人数：3名</p> <p>6. 第13次「交通マナー」向上活動 実施時期：令和5年11月21日(火) 実施場所：JR市川駅北口 内 容：歩道を暴走する自転車締め出しの為、幟や看板などで市民への意識啓蒙を図る目的で出陣式を開催 参加人数：140名</p>
広報の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR市川駅北口駅前にある市川ビルの情報発信板に定期的な告知を実施 ・ 京成バスに活動告知を目的にラッピングバスを市内運行し市民への告知を実施 ・ JR市川駅北口のウェルカムボードに当会活動のトピックスを適宜放送を実施 ・ 当会活動をJR市川駅北口駅広の放送設備を活用して広く市民への告知実施
補助決定事業の成果	<p>1. 市川駅北口駅前イベントステージの運営 近隣市の事例を学習し、北口駅広ライブの許可ルールを策定した事により安全な運営が可能となり「街の魅力向上」に繋がった。</p> <p>2. 市川駅北口シェルター清掃及び美観維持 定期的な清掃の実施とバス・タクシー客用白線劣化防止の白線タイル化を実施したことにより北口駅広の美観維持で風格が保たれたと判断出来る。</p> <p>3. 市川駅北口のLED照明装飾 北口駅広の夜間を賑いや活気が溢れる場所の提供維持として年間を通じて点灯を実施したことによりこれまでの駅前広場より賑わいや活気が溢れる場所が提供できていると判断できる。</p> <p>4. 地域情報設備・ウェルカムボード維持管理 市民へ伝えたい地域情報や自転車マナー向上の啓蒙活動を目的として適宜、放送する事で広く市民への意識醸成が効果的に図られたと判断できる。</p> <p>5. JR市川駅南北口花壇・プランター清掃・美観維持作業 千葉県の大関口であるJR市川駅南北駅広の美観維持を図る事で、公共性の強い駅広を綺麗にしようと言う意識が、市民の中から醸成されて駅周辺的美観が維持されるようになり効果があったと判断できる。</p>

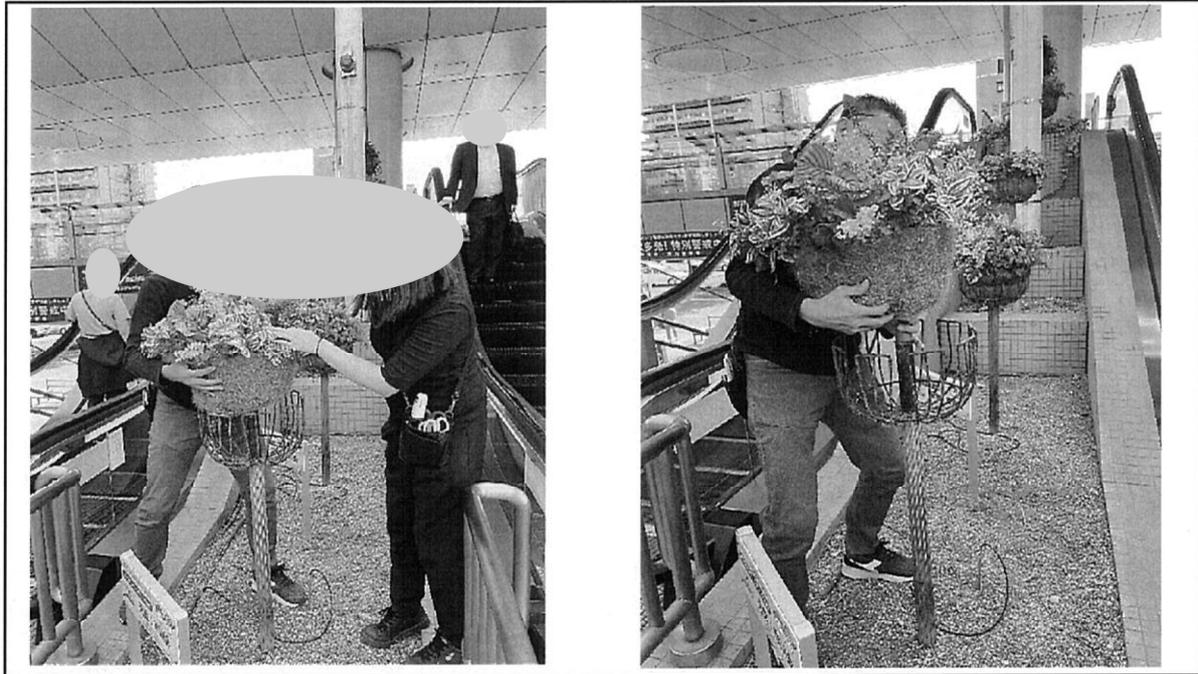
	<p>6. 第13次「交通マナー」向上活動 社会全体からも着目されている自転車運転について、千葉県 of 玄関口として相応しい街づくりを進めていく上で、危険な自転車運転を「しない・させない・見逃さない」事を目的に夜間不法駐輪防止の社会実験として駅周辺を19時まで指導員の立哨をさせた結果、市民へ広く啓蒙する事ができ、歩道を暴走する自転車や駅周辺の不法駐輪などが激減し、安心安全なエリアが確保できた事は効果があったと判断できる。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策</p>	<p>1. 市川駅北口駅前イベントステージの運営 令和5年度は、本事業が開始されて5年と節目の年になりました。（令和5年11月には、功績が認められ市川市長より感謝状を拝受）コロナも落ち着いたことで、通行人も増加し活気が戻ってきたようで、イベントステージに足を止めてくれる観客も増えています。これからも、笑いや憩い・癒しを提供できる、安心・安全で良質なパフォーマンスを提供していきたい。</p> <p>2. 市川駅北口シェルター清掃及び美観維持活動 バス・タクシーを待つ方々にとってシェルターはなくてはならない存在となっている。その美観維持はとても地味な活動ですが、千葉県の玄関口に相応しい佇まいが維持できるよう、今後も手を緩めることなく当活動を行っていききたい。</p> <p>3. 市川駅北口のLED照明装飾 令和5年度は、LED電球の劣化が少なかったため、例年より低コストで修繕を致しました。LED照明は仕事帰りの方を優しく迎え、束の間の安息と癒しを提供できる場所になっている。また駅前広場を明るくすることで犯罪を抑止し、安全安心な街の創出にも寄与している。今後も癒しの灯を絶やすことなく当活動を続けていききたい。</p> <p>4. 地域情報設備・ウェルカムボード維持管理 北口駅広場を利用されている市民に、必要な情報を耳と目からお伝えする事で日常生活のお役立ちとなっており、犯罪や防犯・予防に関する内容も、必要に応じて放映している。今後も、身近な地域情報を伝えるツールとして積極的に活用していきたい。</p> <p>5. JR市川駅南北出入口の花壇・プランター清掃・美観維持活動 本事業は、市政運営基本方針の一つとして「美しい景観のまちの実現」を掲げており、本物と遜色ないフェイク花での装飾の維持管理をしている。令和5年度は活動10年目を迎え、南口エスカレーターとペDESTリアンデッキのフェイク花を更新し、南口の綺麗な景観が復活した。今後も駅前を視覚的に楽しませられる場を提供していきたい。</p> <p>6. 第13次「交通マナー」向上活動 当活動を市川警察署との協働で継続的に展開してきたことにより、自転車運転マナーの向上は実感できるレベルにあり、駅周辺歩道における自転車の押し歩きは定着してきた。蔓延防止措置の解除により朝夕の駅周辺の人通りが徐々に増加傾向にあることから、引き続き当事業を継続し、自転車利用者のマナー向上と歩行者が安心して歩ける駅前環境の構築に寄与していきたい。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

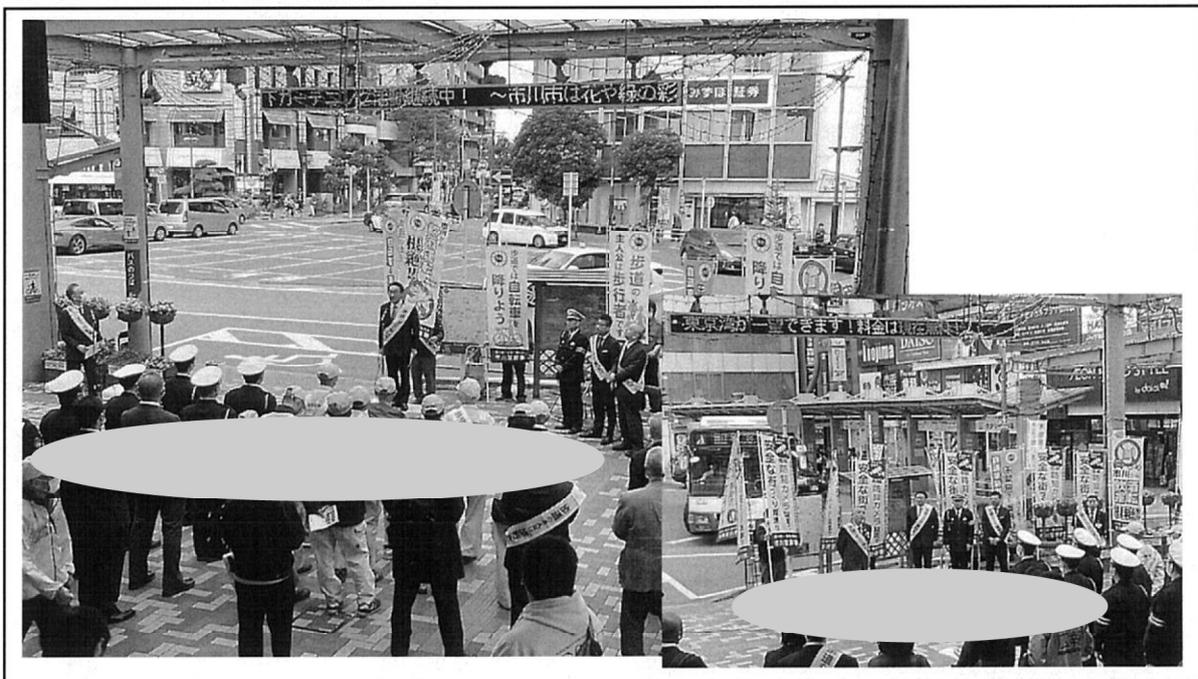
タイトル : 市川駅南口エスカレーターガーデニング交換作業

撮影年月日 : 2023年10月20日



タイトル : 交通マナー出陣式

撮影年月日 : 2023年11月21日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 千葉県の大門口に相応しい、風格・賑わい・活気溢れる街づくり

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入		
寄附金収入	1,160,811	当会活動支援協賛金 【駅広清掃費】 市川ビル205,000円、京成バス205,000円、タクシー協会205,000円 【イルミネーション費ほか】 市川ビル545,811円
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
補助金返金	▲37,988	$224,024円 \div 2 = 112,012円$ $112,012 - 150,000円 = 37,988円$
合計	1,272,823	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
消耗品費	224,024	224,024	・イルミネーション代…69,452 ・造花、外籠代…136,422 ・幟作成代…18,150
保険料	9,000		自賠責保険（駅前北口イベントステージ）
シェルター・歩道清掃費	594,000		
LED装飾費	128,548		イルミネーション施工費
地域情報放送設備・ウェルカムボード運営費	40,000		
ガーデニング運営費	11,000		造花装飾施工費
交通マナー向上活動運営費	1,650		幟作成費
当会開催運営費	174,601		5/16・7/18・9/19・11/7・1/16・3/19（計6回）
印刷製本費	90,000		5/16・7/18・9/19・11/7・1/16・3/19（計6回）
合計	1,272,823	224,024	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年 3月 30日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
いちかわ市民文化ネットワーク
(団体番号 70)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	3,635,879円
(2) 補助対象経費総額	300,000円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	チャレンジド・ミュージカル第14回公演
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>チャレンジド・ミュージカル第14回公演 演目「ネイティブ☆ユニバース～地球人だって宇宙人!!～」 会場 市川市文化会館小ホール 日時 令和6年3月2日(土)16:30公演 3月3日(日)11:00と15:00公演</p> <p>参加者 出演者 76名(内障害者48名) スタッフ・サポーター50名 総計126名(内市川市88名)</p> <p>上演内容 市川市北部の市民合宿所で「2025年5月のスマイル・フェスティバル開催」をめざす実行委員会キャンプが開かれている。そこに、未確認飛行物体UF0が墜落した?未確認飛行物体と地球外生物との遭遇?どうやってコミュニケーションをとる? 観客動員数 一般581名 障害者ほか172名 総合計753名</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ol style="list-style-type: none"> 1、出演者募集チラシ10000枚を県内各所(障害者施設、支援学校)に配布。出演者:障害者48名・健常者28名 スタッフ・サポーター50名の参加を得ました。事前ワークショップを行い、お稽古体験活動を取り入れた。 2、公演チラシ34000枚を準備し各施設へ配布。 3、市川市文化財団の協力のもと、いちかわ広報に紹介記事が掲載されました。 4、当団体HPを始め、SNSを利用した宣伝に努めました。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事前ワークショップを行うことで、歌や音楽、ダンスに興味がある障がい児者たちへの経験場となり、チャレンジすることにより自己肯定感の獲得にも繋がった。 2. 現代劇の膨大な台詞にも関わらず難しい表現に挑戦し、感情豊かに見事に演技切った。 3. 障害を抱える子どもたちにとって意欲を維持することが困難に思えたが、舞台に立つこと、演じることが大好きな子ども達は最後までやり切り、観客からの盛大な拍手のもと公演を終えることができた。参加している本人たちはもとより、コロナ禍を乗り越え、開催を待ち望んでいた観覧者全員が笑顔となる公演を迎えられた。 4. 今後の舞台表現活動に光をもたらす公演となった。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>さまざまな感染症が発生している中での活動時期であるため、感染予防対策を重視しせざるを得ない状況でした。参加者の健康状態を保護者の方々と共有し進めていくことが必要不可欠となりました。</p> <p>障害のある人もない人も、子どもも大人も、一緒になって稽古を重ねた体験は、大きな団結心に結びついたと思います。</p> <p>本公演を実施するにあたり、参加者や観客動員の呼びかけを強化した結果、新規出演者や観客動員は増大した。それに伴い、各障害者施設・団体への呼びかけや動員を図るには「年間スケジュールに事前に組み入れる」ことがわかり、今後は活動開始を早めるなど、次回も実施できるよう努力することが必要であると感じました。</p> <p>この活動に参加した障害児・者はめったにやめていきません。体力と表現力そして観客の反響が高まり、自己肯定感と社会参加意欲が向上していくからです。</p> <p>今回も、千葉県と市川市の文化振興財団との共催が実現しました。</p> <p>今後も県内各地の市民にぜひ鑑賞していただけるよう呼びかけていこうと思います。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : チャレンジド・ミュージカル第14回公演
「ネイティブ☆ユニバース～地球人だって宇宙人！？～」

撮影 令和6年 3月 3日 11:00公演



タイトル : チャレンジド・ミュージカル第14回公演
「ネイティブ☆ユニバース～地球人だって宇宙人！？～」

撮影 令和6年 3月 3日 15:00公演



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：チャレンジド・ミュージカル第14回公演

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	1,445,500	チケット販売 一般581枚×2000=1,162,000 障がい者ほか172枚×1500=258,000 当日券51枚×500円=25,500
寄附金収入	173,000	広告協賛金 132,000円 個人協賛金 41,000円
補助金収入	150,000	市川市市民活動補助金
その他 （助成金等）	1,000,000	芸術文化振興基金
会費充当	867,379	団体の本会計より充当
合計	3,635,879	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	1,785,000		外部講師等の招へい ○あり/なし 演奏費 40000円 振付料 350,000円 作曲料 190,000円 歌唱指導料 135,000円 演出料 200,000円 脚本料 200,000円 舞台スタッフ費90000円 デザイン料 20000円 舞台監督費510,000円 アシスタント料50,000円
交通費			
消耗品費			
印刷製本費	140,420		パンフレット印刷64,150円 公演チラシ印刷 65,130円 入場券印刷11,140円
通信運搬費	113,518		レンタカー使用料110,318円 駐車料 3,200円
保険料	38,000		団体加入保険 500円×76=38000
使用料及び賃借料	1,292,320	300,000	市川市文化会館小ホール 使用料130,110円 付帯設備費150,210円 照明費 440,000円 音響費 440,000円 映像費 132,000円
原材料費	266,621		大道具費162,262円 小道具費26,210円 衣装費 78,149円
合計	3,635,879	300,000	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2024年3月28日

市川市長

団体名 いちかわ歩こう会

(団体番号 73)

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	421,576円
(2) 補助対象経費総額	300,000円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

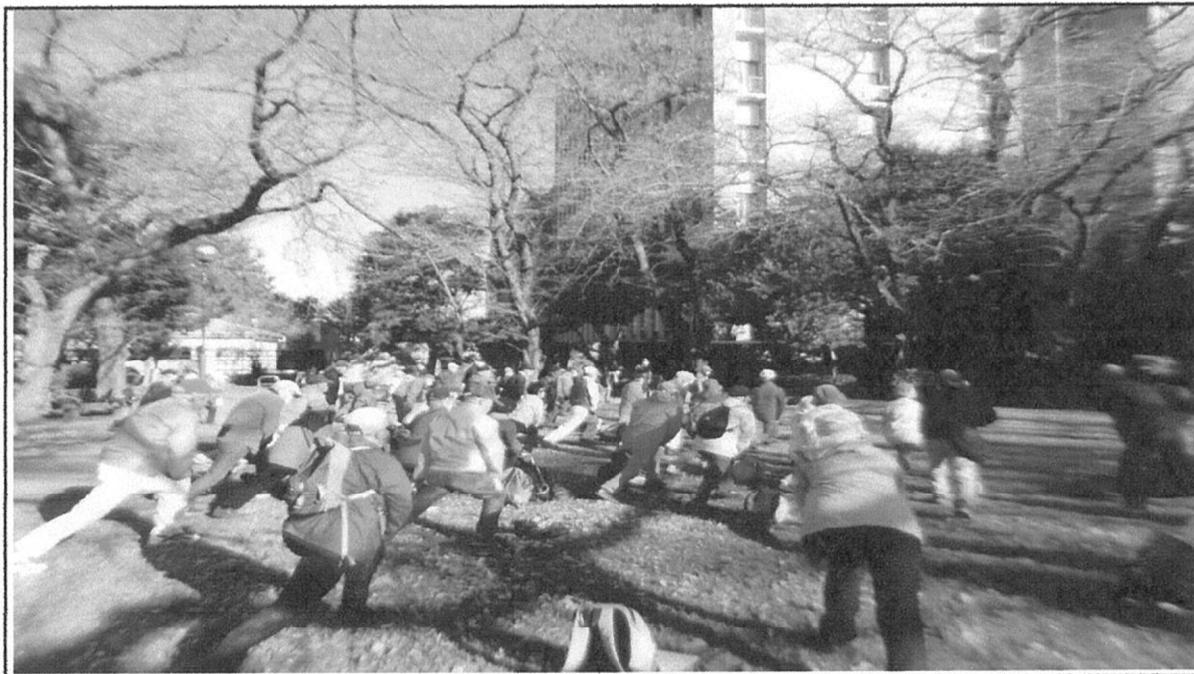
補助決定事業の名称	健康づくりの“ウォーキング”実践事業 Fk09
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>①本年度は26事業の計画に対して、計画通り26事業を実施することができた。参加者の高齢化を考え、10Km未満のコース・10Km以上のコースでは途中一次解散の設定等考慮して実施した。また距離の短縮ばかりではなく長距離のコースも2つ設定し幅広く多くの方に楽しんで頂くことが出来た。</p> <p>②実績26事業での参加者は2,578名であった。天候の関係もあったが、前年(2,929名)に比べて若干減少した。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>①いちかわ歩こう会の月刊誌「松ぼっくり」の発行</p> <p>②ホームページ「いちかわ歩こう会トップページ」にて紹介</p> <p>③いちかわ歩こう会発行「例会案内(チラシ)」を各公民館等に設置</p> <p>④一般社団法人日本ウォーキング協会(JWA)発行「ウォーキングライフ」に掲載</p> <p>⑤NPO法人千葉県ウォーキング協会(CWA)発行「CWAニュース」に掲載</p>
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>①いちかわ歩こう会によるウォーキングを実践することで、健康な身体づくりに役立ち、参加者相互の友好の輪を広げることができた。</p> <p>②会員及び一般市民の参加者を対象に、市内及び近郊で7Km～27Kmを4つのコースに分けて設定し、自発的に各コースを自由に歩けるコースを設定した</p> <p>③1事業の中に中距離と短距離のコースを設け、会員に距離を自由に選べるようにした。年齢やその日の体調により歩けると喜ばれている。</p> <p>④広報誌(会報、例会案内チラシ)を例会で参加者に配布。欠席した会員には会報誌等を送付し、会員と密接な連携が図れるようになった。</p> <p>⑤2023年度は例会等を26回実施し、2,578名の参加があった。コロナ禍前に戻りつつある。</p> <p>⑥例年、事業計画に基づく例会(ウォーキング)に参加した会員に対し、年間完歩賞の表彰制度を実施することで、会員の積極的な参加を図った。</p> <p>⑦コロナ禍が衰退したとは言え、当会の参加者は高齢者も多くまだ油断はできない。三密にならない様今後も十分注意していく。</p> <p>⑧市川市を中心に近隣の地区(船橋市・鎌ヶ谷市・松戸市等千葉県内及び東京地区)でコースを設定し実施している。今後も継続して実施予定である。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>①2023年度は、コロナ禍が減衰をみせ、年間事業は計画通り26回実施できた。それに伴い、参加費等の収入も回復傾向を示し、健全な会の事業運営が出来るような状況になってきた。だが、近年会員の高齢化により、やむなく退会される会員も多くなり、収入に影響を与え始めている。この中で、当補助金は事業運営に多大な援助となっている。</p> <p>②多額の経費を必要とする、交通費(例会等出席の役員交通費)及び通信運搬費(事業不参加の会員への会報誌送付・連絡)に関しては、極力浪費を避け、節約を実行し、経費の削減化に努めている。</p> <p>③参加者へ更楽しく歩いて頂くため、事業内容(コース、距離等)を考えるとともに、歴史的資源(神社仏閣・その土地の遺跡)の簡単な口頭解説を加えるとともにコースガイドを作成している。参加者からは大変好評を得ている。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

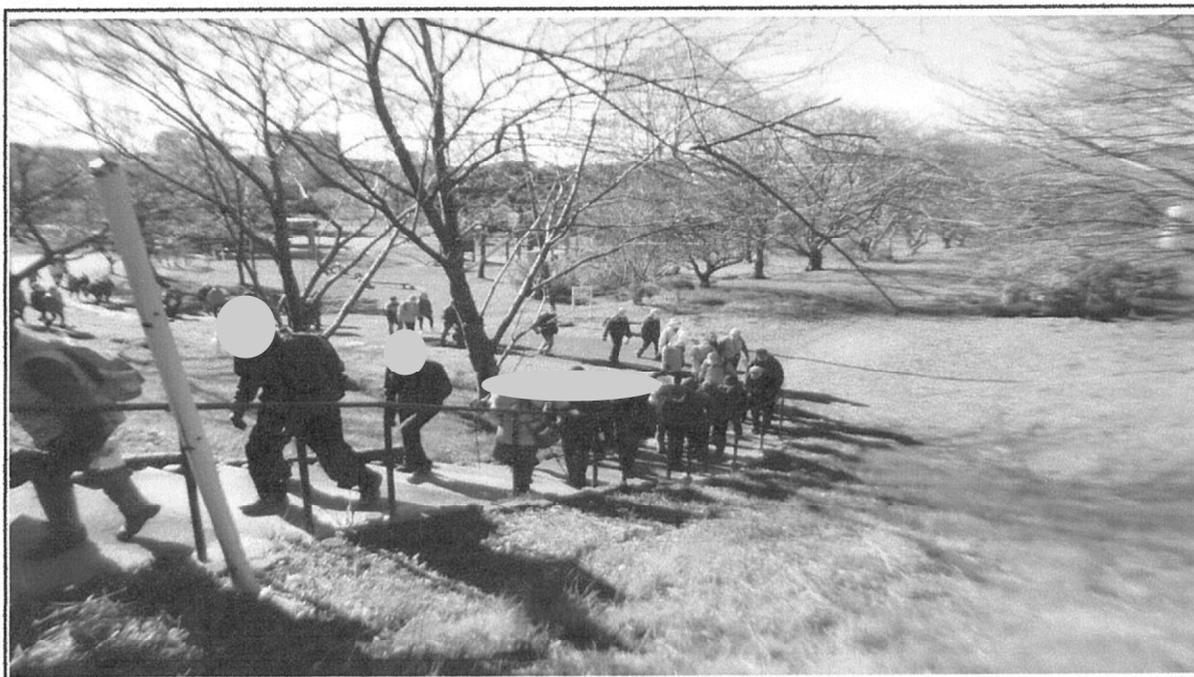
タイトル : 法皇塚古墳と栗山浄水場

撮影年月日: 2023年12月9日



タイトル : 長津川と海老川を訪ねて

撮影年月日: 2023年12月22日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：健康づくりのための”ウォーキング実践”

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	271,576	例会参加費 2,578名分
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当		団体の本会計より充当
合計	421,576	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費			外部講師等の招へい あり/なし
交通費	170,726	130,000	例会26回分の役員の交通費
消耗品費	30,931	20,000	封筒代、PCインク代等
印刷製本費	52,723	30,000	地図・名所説明印刷・会報印刷代等
通信運搬費	106,536	70,000	会報・例会チラシ発送費用等
保険料	60,660	50,000	会員及び例会参加者の傷害保険代
使用料及び賃借料			
原材料費			
合計	421,576	300,000	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業績報告書

2024年 3月 11日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人市川市ユネスコ協会

(団体番号 75)

代表者名

所在地

令和5年10月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	53,827円
(2) 補助対象経費総額	48,230円
(3) 補助金交付決定額	24,115円
(4) 補助金交付概算払額	24,115円



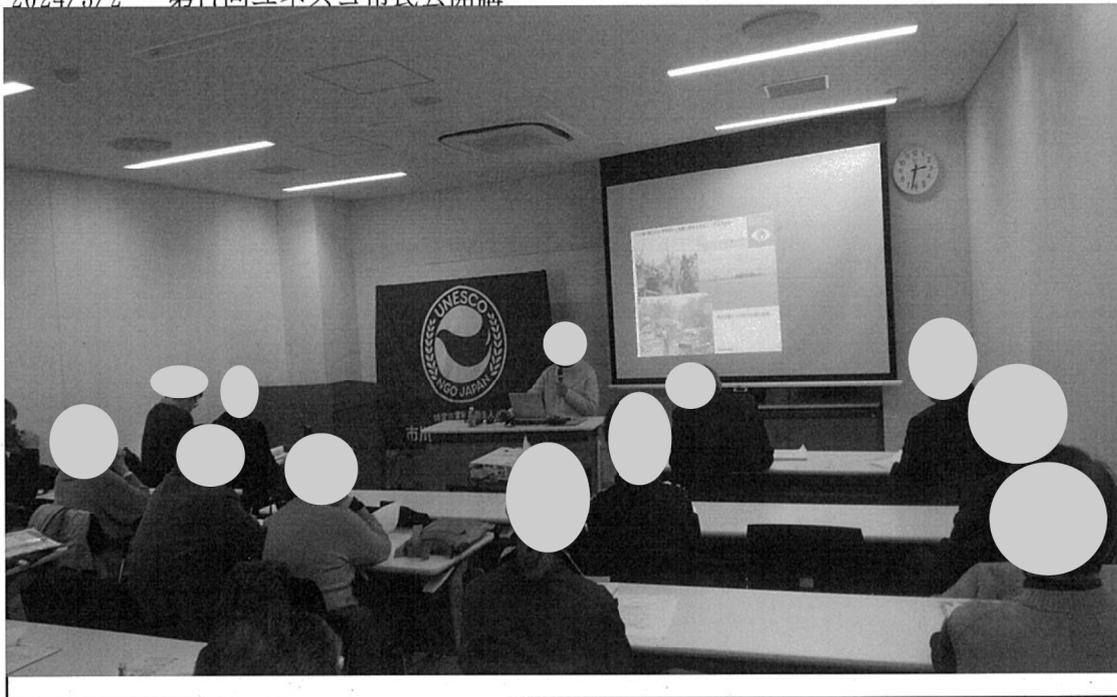
(5) 実施報告

補助決定事業の名称	ユネスコ市民公開講座
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>第17回ユネスコ市民公開講座 SDGsの学び⑤を 2024年3月2日14:00～16:00全日警ホール会議室で講師に[REDACTED]の[REDACTED]を招聘し「環境教育を通じたSDGsの目標に向けて」講演を実施。会場参加者27名(内zoom1名)市内22名。市外5名。 日本のSDGs達成順位は21位と先進国の中で低く取り組む課題が多い。深刻な課題であるSDGs6, 12, 13, 14, 15の達成に環境教育が重要で、近年のコロナ感染拡大のパンデミックが戻らした環境教育活動の影響について問題点を提示。またグローバルな環境教育活動についてバングラデシュでの[REDACTED]の実践を豊富な資料で説明。全世界中で国連のSDGs達成のために自分がなにができるかを考える良い機会となった。参加者にアンケートを実施</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>当協会HP, 市川支え合いネットに掲載。2/17市川よみうり新聞に掲載。 ユネスコ市民公開講座のリピーターにメールか郵便で通知。開催2ヶ月前よりチラシを全日警ホールに掲示。</p>
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>”補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>昨年の誰でもわかるSDGsに引き続きより詳しくSDGsの具体的な取り組み環境教育の事例を紹介。ユネスコの発展途上国支援とリンクする活動で自分たちが実践できるSDGsのゴールへの活動を学ぶことができた。アンケートにSDGsのグローバルな実践について理解が深まったとの回答が多かった。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによってどのような課題を把握し及び当該課題を解決するための改善策を講じたのか記載してください</p> <p>全日警ホールのようなWiFiが使える公共施設が少なく、Onlineでの会議講演ができるとより広く一般市民の方にご参加が頂けると思う。次年度のユネスコ市民公開講座も引き続きSDGsについて講演を予定している。</p>

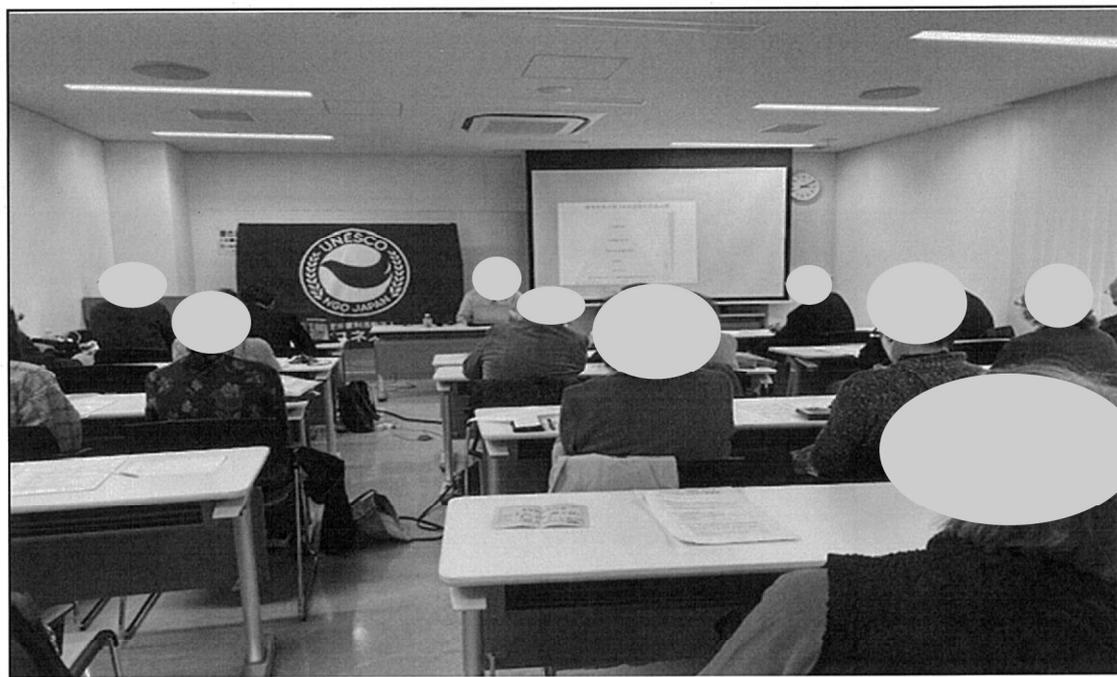
(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

2024/3/2 第17回ユネスコ市民公開講



2024/3/2 第17回ユネスコ市民公開



2023年度市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：ユネスコ市民公開講座

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	24,115	市川市市民活動事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	29,712	団体の本会計より充当
補助金返金		
合計	53,827	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	20,000	20,000	外部講師等の招へいあり
交通費	5,940	5,000	当日スタッフ7名
消耗品費	17,547	15,000	インク、コピー用紙
印刷製本費	250	230	資料印刷代
通信運搬費	8,380	8,000	前回参加者にチラシ郵送、希望者に資料郵送
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	1,710	0	
原材料費	0	0	
合計	53,827	48,230	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年3月6日

市川市長

団体名 NPO法人子育て・教育支援センターピア

(団体番号 77)

代表者名

所在地

令和5年10月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	130,067円
(2) 補助対象経費総額	113,871円
(3) 補助金交付決定額	58,506円
(4) 補助金交付概算払額	58,506円



(5) 実施報告

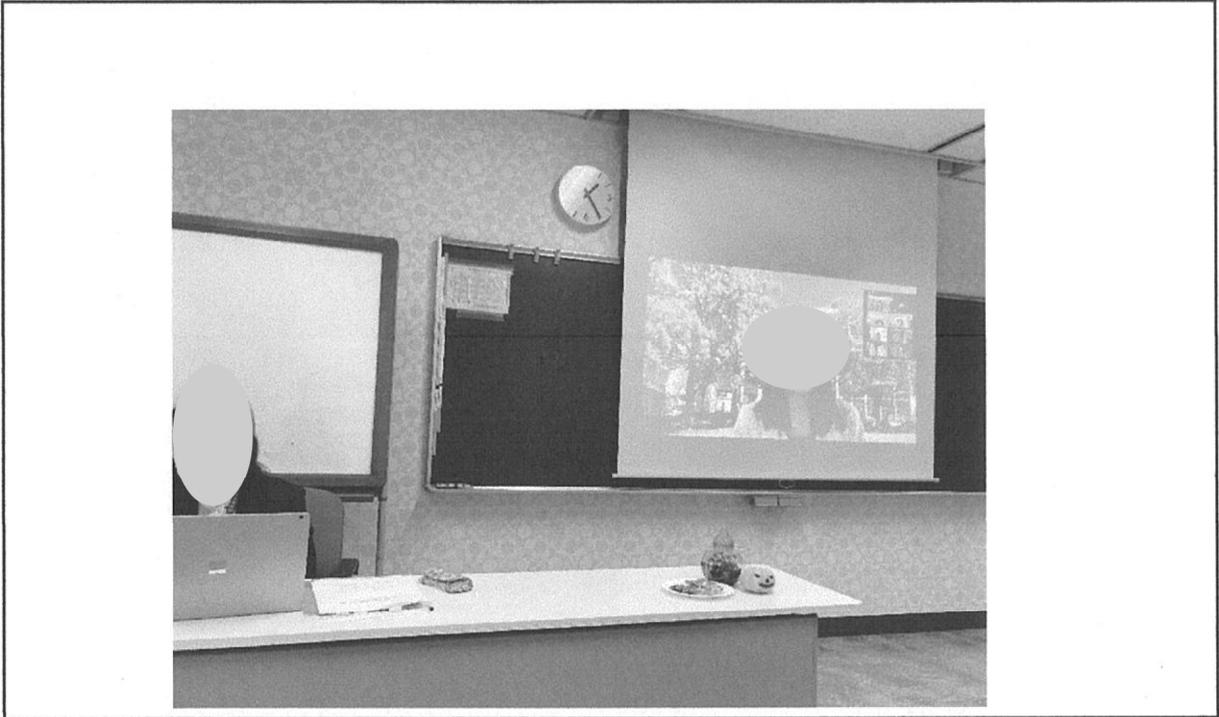
補助決定事業の名称	子育ての負担感を軽減し及び子どもの発達を支援する活動
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>1. 補助決定事業の実施内容、及び計画通りにできたこと</p> <p>①コロナ感染症による行動規制もかなり緩和されたことから、講演会の形態として対面を希望したが、講師の事情により、10月29日(日)午後1時15分～4時15分まで、Zoomを基本とし、対面を希望される方には男女共同参画センターにて、スクリーン聴講を実施した。②講師は[]、演題は「不登校の理解と支援—社会的自立を目指して—」であった。</p> <p>③会場13名、Zoom26名が参加。3時間という長い講演であったが、皆熱心に聴き入っていた。後半には、講師がZoom上で、ブレイクアウトルームを使ったグループワークを行い、スクリーン聴講の会場では、小グループに分けて、短い時間であったが、それぞれの意見を話し合うことで、皆の気持ちが一気に繋がったように思われた。(全体で39名中、市川市民は30名)</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>2. 広報の実施状況</p> <p>①今回も学校、幼稚園の教職員、保育園、学童クラブ、カウンセラー等、子どもの支援に関わる皆様、及び関心をお持ちの皆様を対象に、市川市、教育委員会、社会福祉協議会を通じて、チラシを配付した。</p> <p>②市の広報にも掲載を依頼。さらに、直接の郵送、メール、知人への紹介、地域新聞、町内の掲示板などを用いて、参加を呼び掛けた。</p> <p>③今回は市川市教育センターだけでなく、習志野市総合教育センター、子どもと親のサポートセンターなどにもチラシを持参し、参加をお願いした。</p> <p>④効果的な広報は、アポがとれれば、チラシを直接持参し、対面で参加をお願いすることだと思う(今回は難しくて、次回に繋がっていくであろう)。コロナ禍で難しかったコミュニケーションを深めることが大切だと考えている。</p>
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>3. メリットについて</p> <p>①ピアの講演会などの事業は年に1、2回しか行えないため、地域がどのように変わったかということは、すぐに知ることはできないが、参加者がどのように受け止めたのかは、講演会のアンケートでも知ることができる。</p> <p>②参加者から、自分が今対応している子どもたちの支援に活かしたいと思ったことや、現場でもいろいろ応用できることなどが話された。さらに、これまで自分が行ってきたこと、考え方を後押ししてもらったように思えたなどが語られた。</p> <p>③保護者からは、これまでの自分の子どもへの接し方、考え方について、どうしたらよいのか気がついたということも話された。</p> <p>こうしたことも講演会の成果だといえるであろう。</p> <p>④本年度は、補助金の申請はできなかったため、対象ではないが、ピアの事業として、4年ぶりに対面の「子育て広場」も開催し、保護者、幼児から大変好評を得た。その折にも、講演会を紹介した。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>4. 事業の実施から把握した課題</p> <p>①今回はZoomであったが、ブレイクアウトルームを使ってグループワークを行った後、会場では、一気にその場の雰囲気や和やかになり、気持ちを共有できるようになったと感じられた。Zoomでは、その実施方法が大切であることを認識した。</p> <p>②本講演会のような行事では、3か月以上も前から準備、出費が始まるため、10月以前の支出が多く、補助金申請の時期をうまく選択することも課題の一つである。</p> <p>③今回の不登校の子どもへの理解、支援についての講義は、対応で困っている保護者や、現場で対応している参加者の心に響き、多くの方々から、とても参考になり、明日からでもやってみようなどが語られていたが、ピアのような活動を知らなかった、もっと早く参加したかったという方の存在もあった。7年間も実施してきた活動だが、今後の支援にも繋がるように工夫することが必要だと思う。</p> <p>④民間のグループ、他のNPO法人の方々との交流を深めて、悩み、困っている個人の方々にもピアの活動が届くようにするにはどのようにしたらよいのかを検討していきたい。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

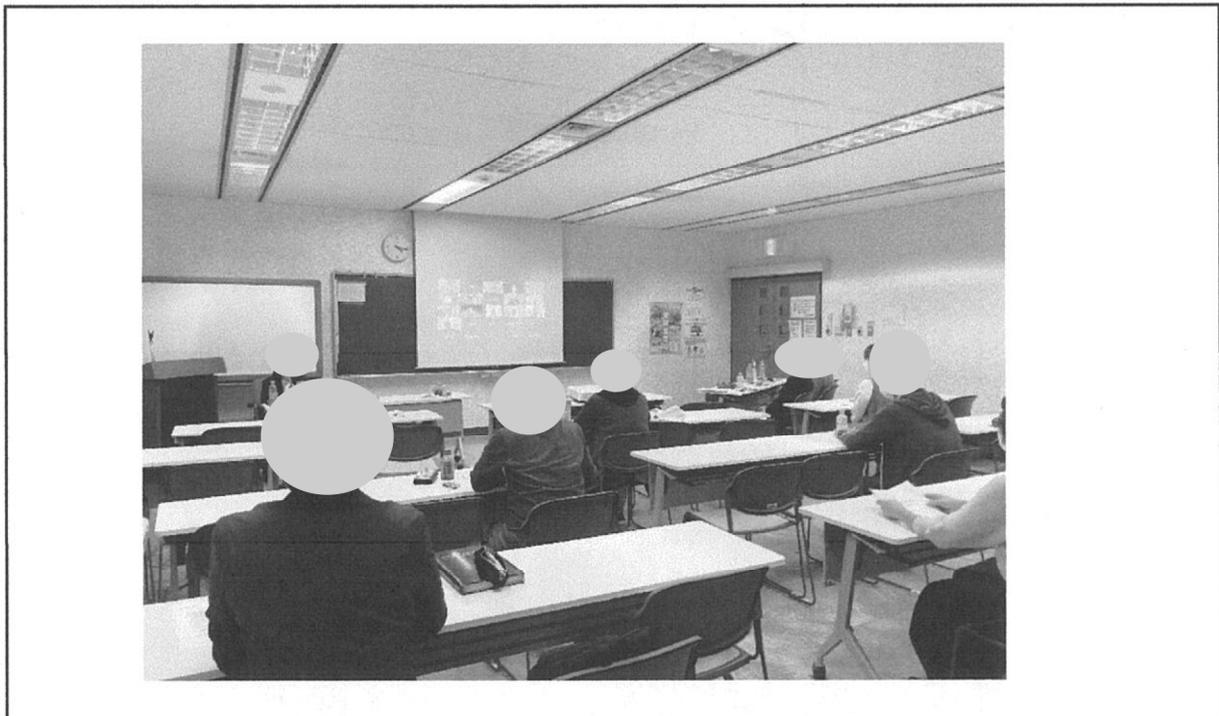
スクリーン聴講の仲間、先生・Zoomの皆さんと繋がる

令和5年10月29日（日）



会場ではこの場の仲間とも繋がり、臨場感も共有した。

令和5年10月29日（日）



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：子育ての負担感を軽減し及び子どもの発達を支援する活動

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	64,800	Zoomと会場でのスクリーン聴講による講演会(1,800円×36人)
寄附金収入	8,332	講演会
補助金収入	58,506	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当		団体の本会計より充当
返金額	-1,571	
合計	130,067	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	70,220	70,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> / なし Zoomとスクリーン聴講による講演会 講師料50000円 配信サポーター20000円
交通費	7,088	6,464	講演会10/29(966円×1人、1326円×1人、690円×2人)、チラシを教育センターや学校などへ持参配付10/2(734円×1人) 10/3(292円×1人) 10/5(340円×1人、1030円×1人) 10/17(1020円×1人)
消耗品費	27,097	15,059	インク、コピー用紙、筆記用具、封筒、クリップなど
印刷製本費▲	11,858	11,858	講演会の案内、チラシ、資料など
通信運搬費	5,724	2,410	講演会の案内、チラシ、資料送付など
保険料	5,000	5,000	保険掛金
使用料及び賃借料	3,080	3,080	男女共同参画センター研修室
原材料費	0	0	
合計	130,067	113,871	

※ 領収書（原本）を添付してください。